

助産師出向研修支援事業

担当：米田

1) 目的

「助産師出向研修」とは、医療機関相互の協力により、助産師の出向と受け入れを行うことにより、研修を実施する医療機関相互の助産師の助産実践能力の強化を図ることを目的とする。

2) 期間

令和6年4月1日～令和7年3月31日

3) 対象

石川県内の分娩取り扱い施設

4) 内容

- (1) 助産師出向研修は、医療機関が相互に、出向する助産師が出向元に所属したまま、出向先で勤務する在籍型の出向研修を基本とするが、研修の目的に応じて、出向元・出向先の医療機関双方の同意があれば、一方向のみの研修も可能とするなど柔軟に行うものとする。
- (2) 出向研修の実施にあたっては、出向する助産師の身分、期間、内容、勤務条件、給与服務、負傷疾病、医療責任（期間中）について、出向元・出向先の医療機関双方で内容を検討し、同意した場合「協定書」を取り交わすものとする。
- (3) 医療機関相互の協力による研修の実施であることから、医療機関同士の研修謝金は生じないものとする。
- (4) 医療機関が「助産師出向研修」を実施できるよう、必要な支援を行うコーディネーターを配置する。

5) 方法

- (1) 県内の分娩取り扱い施設（病院・診療所）における助産師出向研修のニーズ等を年度当初に県が実施する。
- (2) 上記調査で参加意向のあった施設にコーディネーターが訪問し、本研修の目的・効果について説明するとともに、出向元施設には出向可能な時期・期間・人数の確認、出向先施設には受け入れ可能な時期・期間・人数の確認を行う。
- (3) 出向元・出向先双方の希望にできるだけ沿うような形でマッチングを行う。
- (4) 研修開始前に双方で協定書を交換する。
- (5) 研修参加助産師と面談し、目的・目標の確認と注意事項を説明する。
- (6) 研修開始前に研修助産師を出向先施設へ案内する。
- (7) 研修中コーディネーターは出向助産師への支援を行う。

6) 研修実施状況

分娩介助スキル研修

出向順	出向元施設	出向先施設	期間	分娩件数
1	金沢医科大学病院	ママBBクリニック	1ヵ月間	25件
2	金沢医科大学病院	ママBBクリニック	1ヵ月間	20件
4	石川県立中央病院	といたレディースクリニック	1ヵ月間	15件
5	石川県立中央病院	といたレディースクリニック	1ヵ月間	21件
6	金沢医療センター	まなぶレディースクリニック	3ヵ月間	21件

7) まとめ

令和6年度 助産師出向研修支援事業は 出向元5施設 出向先4施設で8名の研修者のマッチングをすることができた。そのうち1施設2名が施設の出向元施設のマンパワー不足ということで急遽参加不可となった。そのため出向元4施設 出向先3施設 6名の研修を実施することができた。6名はすべて助産を中心とする分娩介助スキル研修となった。期間は1ヵ月間が5名 3ヵ月間が1名であった。長期間の研修の場合マンパワーの不足が常に問題となる。負担が大きい研修であるため、より成果が見える研修としなければならない。

前年度より 研修者 出向先施設担当者 看護協会担当者の参加で 研修中に2回(中間期・終了前)のカンファレンスを開催してもらうよう働きかけた。研修者は分娩介助した症例数例の経過をまとめ、そこで受けたアドバイスや学んだことを発表してもらった。そして施設担当者や看護協会担当者からの質問を受けたり、助言を聞く機会としてもらった。担当した症例をまとめることで学びを確かなものにし、参加者からの助言でさらに知識や考え方に深まりが出たのではないかと考える。